

はちまんたい

2008.2.21
No.56



今月の表紙

1年生が県勢49年ぶりの快挙を成し遂げた。小林潤志郎選手(盛岡中央高-松尾中、柏台)は2月4日、新潟県湯沢町で行われた第57回全国高校スキー大会の純飛躍で堂々全国の頂点に立った。1本目76㍍で3位につけた勝負の2本目。会心のジャンプは大きな弧を描き、85㍍の最長不倒で逆転優勝した。同大会ではノルディック複合でも準優勝。絶好調の小林選手は今年、世界へ羽ばたく“飛躍”の年になる。

(写真: 1月18日、国民体育大会少年組選手選考会)